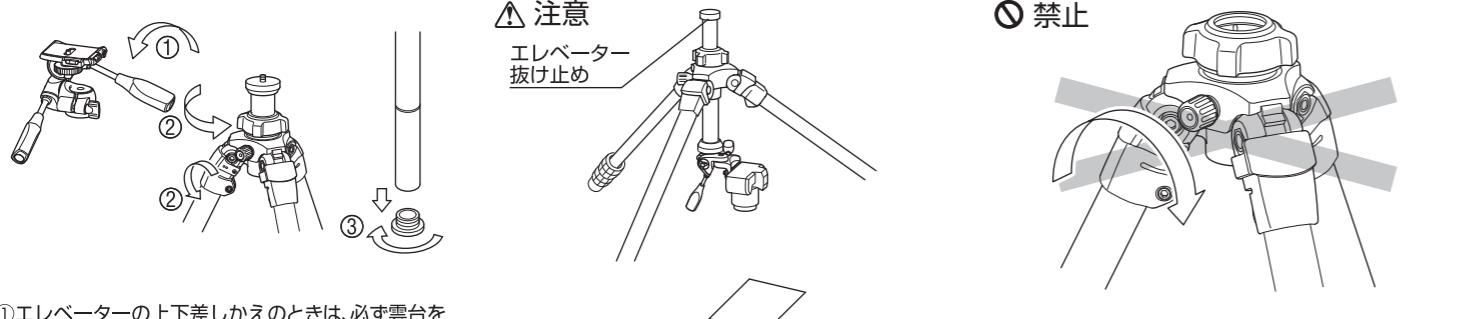


エレベーターの上下差しかえ

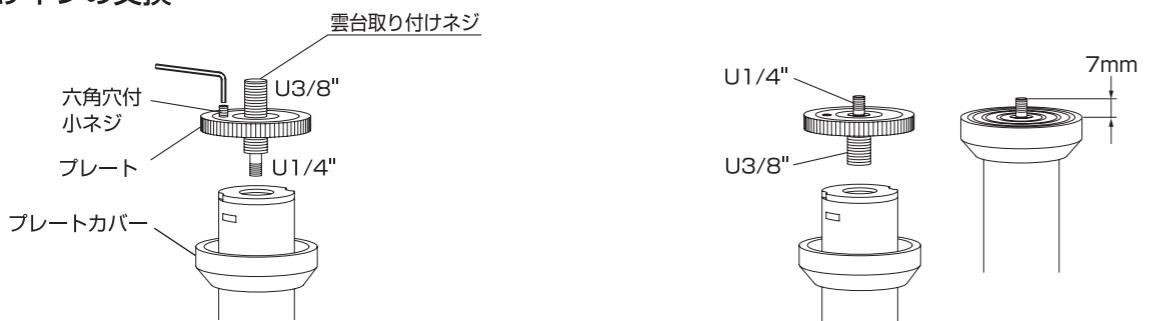


- ①エレベーターの上下差しかえのときは、必ず雲台をはずしてください。
- ②エレベータースッパーとエレベーター締め付けナットをゆるめます。
- ③エレベーター抜け止めを外しエレベーターをぬきとります。

入れかえが終わったらストッパーを締めつけ、落下防止のためエレベーター抜け止めを必ず取り付けてください。

エレベーターを抜きとったままエレベータースッパーを操作しないでください。
内部の部品が破損します。

雲台取り付けネジの交換



雲台取り付けネジは大ネジ(U3/8")と小ネジ(U1/4")の反転式です。

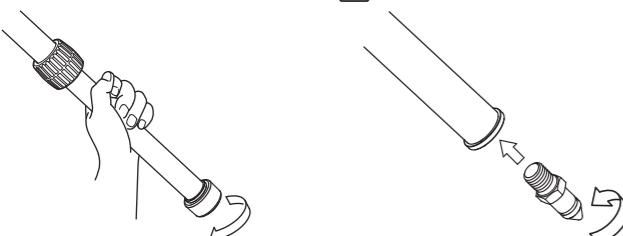
1. プレートカバーを下にずらします。
2. 六角穴付小ネジを付属の六角レンチ(二面巾2mm)を使って3回転位緩めます。
3. 小ネジを付けたままプレートをゆるめて外します。

4. 雲台取り付けネジをゆるめて抜きとり、上下反転させて再びねじ込みます。

5. 使用するネジが上面から7mm位出るようにプレートで調節し、小ネジを締め付けます。
6. カバーを元にもどします。

石突の交換

△ 注意



ゴム石突を取り外して、アクセサリーと交換する事が出来ます。アクセサリーはU3/8"ネジ用を使用してください。
脚パイプをしっかりと握り、ゴム石突をゆるめてはずします。
この時、最下段の脚パイプ以外を持って行うと、脚パイプが破損する恐れがあります。

アクセサリーを取り付けるときは、脚パイプをしっかりと握り、ねじ込んでください。
注意：
最下段の脚パイプ以外を持って行うと、脚パイプが破損する恐れがあります。

○ 禁止



- ・三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
- 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- ・火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- ・よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。

したがって本期間に修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください

©2019 SLIK CORPORATION

SLIK®

ライトカーボン E93、E94

仕様

ライトカーボン E93	820 mm
縮長	2,160 mm
全高	380 mm
EVスライド	3,450 g

ライトカーボン E94

ライトカーボン E94	670 mm
縮長	1,990 mm
全高	325 mm
EVスライド	3,370 g
質量	3,450 g

三脚ケース付

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

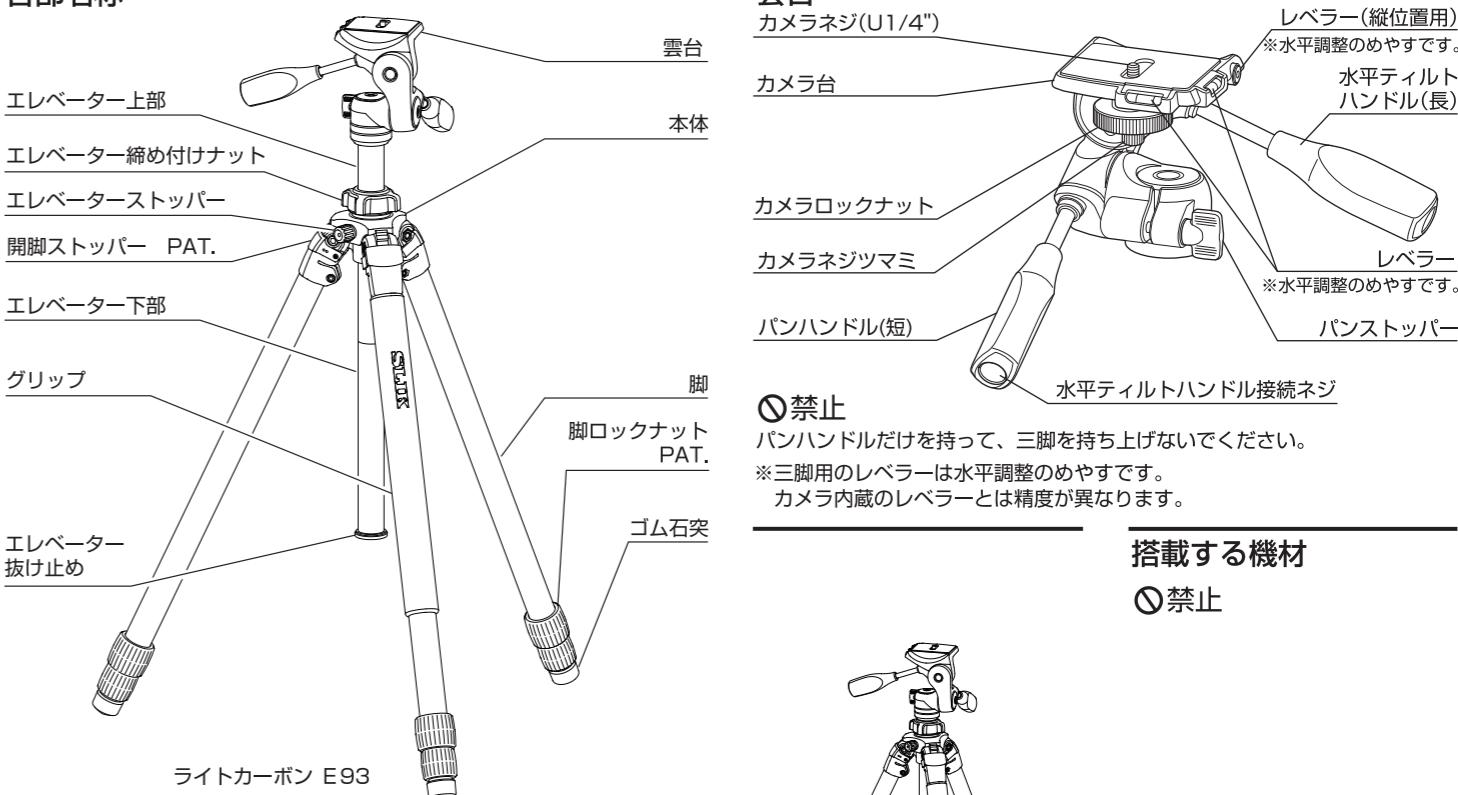
脚のみをお買い上げの方は【三脚部】の説明を中心にお読みください。

△ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

○ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

T747

各部名称



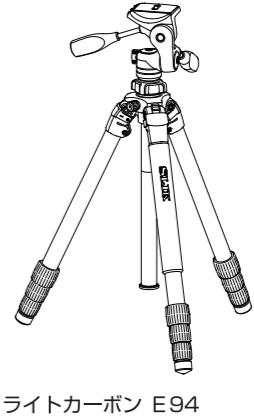
○ 禁止

パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

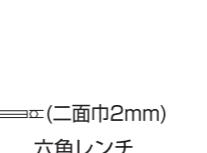
搭載する機材

○ 禁止



この製品は、7kg 位までの機材を載せるように作られています。
これ以上の機材は載せないでください。
また、7kg 以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

付属品



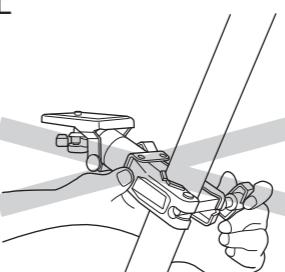
衝撃のあったとき

△ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認してください。
傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ている場合はケガをする恐れがあります。
直接触れないようご注意ください。

クランプヘッド

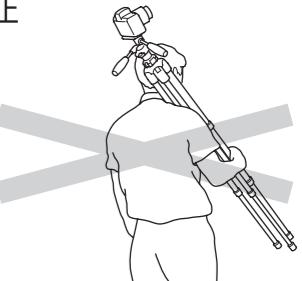
○ 禁止



別売のクランプヘッドはカーボン三脚には使用しないでください。
パイプが破損し危険です。

持ち運びのとき

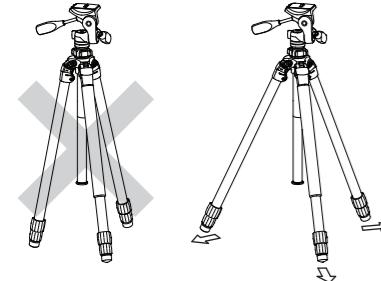
○ 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

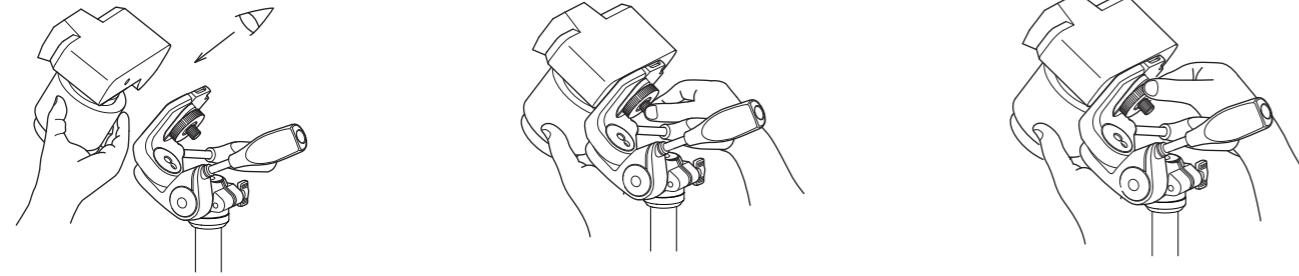
機材の取り付けとセットアップ

△注意



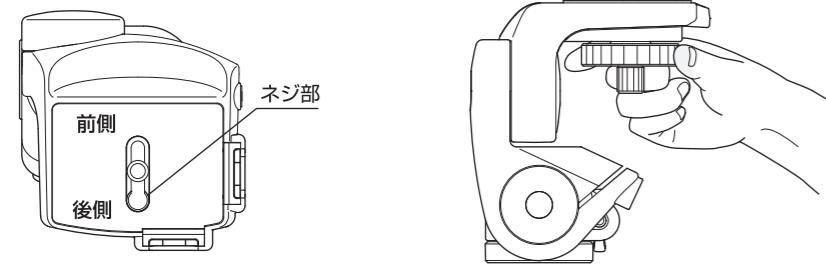
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

カメラの取り付け



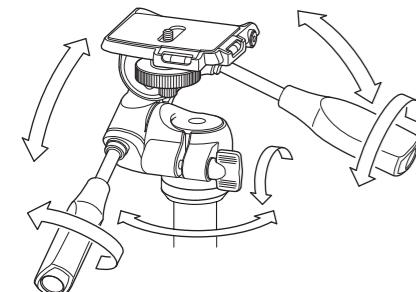
ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見て取り付けやすくなります。

カメラネジ



別売のU3/8"カメラネジと交換する際は、カメラネジを長穴の最後端のネジ部から外してください。機材を取り付ける際、長穴の最後端を使用するとカメラネジが外れることがありますので、なるべく使用しないでください。

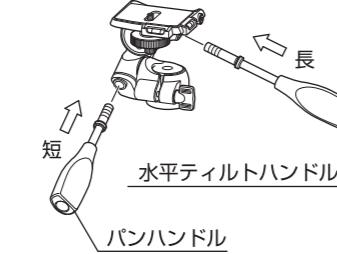
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き下向きにティルトできます。パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向にパンできます。水平ティルトハンドルをゆるめると、縦位置横位置の調整と水平調整ができます。

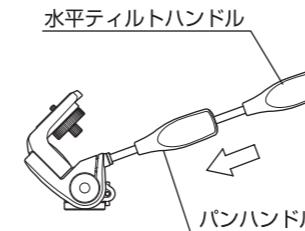
雲台部 パンハンドルの取り付け

△注意



雲台に2つのハンドルを取り付けます。パンハンドル(短)を左、水平ティルトハンドル(長)を右に取り付けてください。逆に取り付けないでください。正常に締め付けることができません。

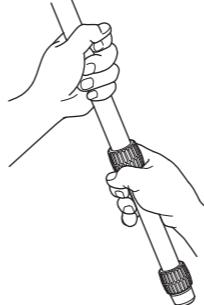
収納



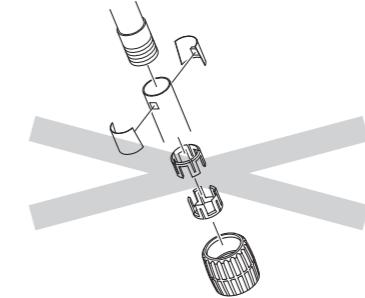
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドルにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

三脚部 脚の伸縮

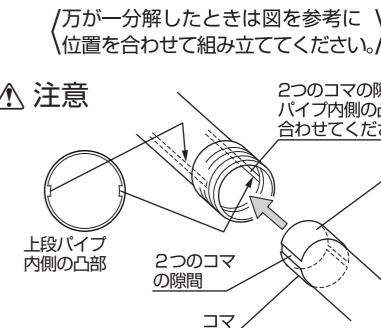
○ 禁止



脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきまつたらしっかりと脚ロックナットを締めつけてください。



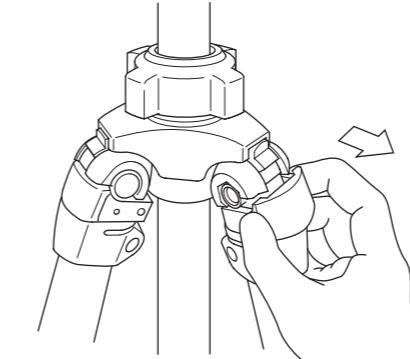
本製品は分解等しないように注意してください。誤って脚ロックナットを外した場合は、次の図を参考に正しく組み立ててください。



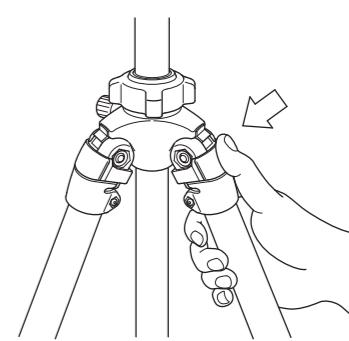
パイプを差し込むときは、2つの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。(無料修理保証の対象外です。)

開脚角を変える

△注意

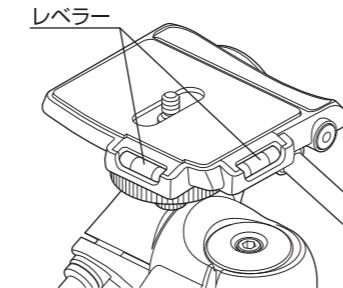


標準の開脚位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残りの二つの開脚角度(ミドル、ロー位置)がえらべます。



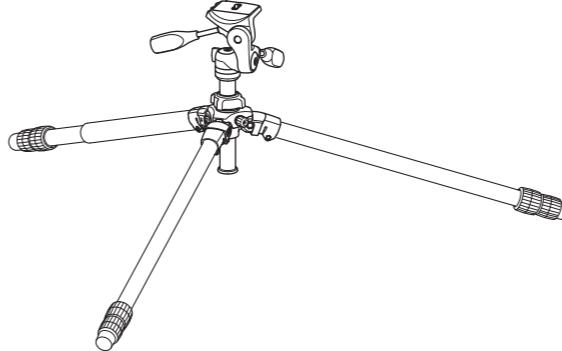
使用角度が決まったらストッパーを突きあたるまで確実に戻してください。

レベラー

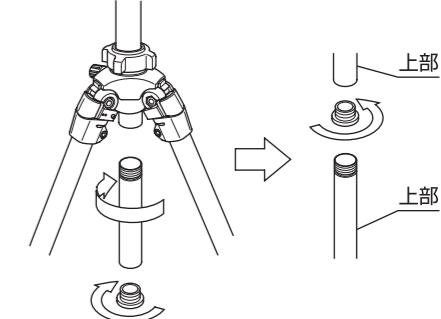


カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しのめやすとすることができます。

ロー位置

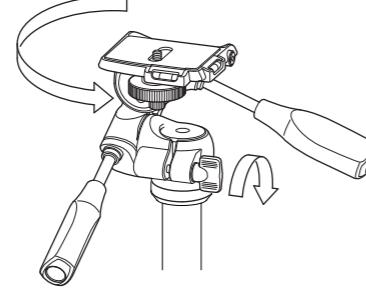


エレベーターの下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。



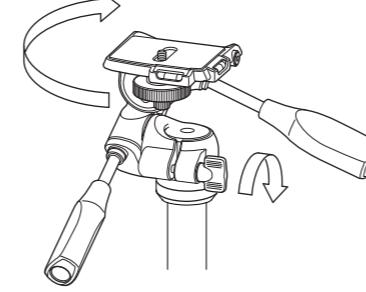
エレベーター抜け止めと、エレベーターの下部を矢印方向にねじり、取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

雲台の取り外し



雲台を取り外すときは、初めに三脚のエレベーターをエレベーターストッパーでしっかりと固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込みます。パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。

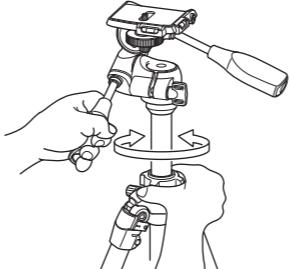
雲台の取り付け



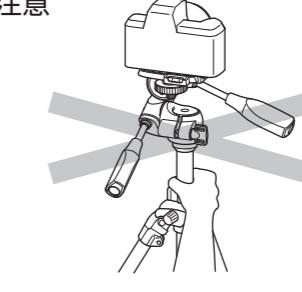
雲台と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりに止まるまでまわします。パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじこみます。パンハンドルをゆるめると通常にパンニングできます。

エレベーターの使い方

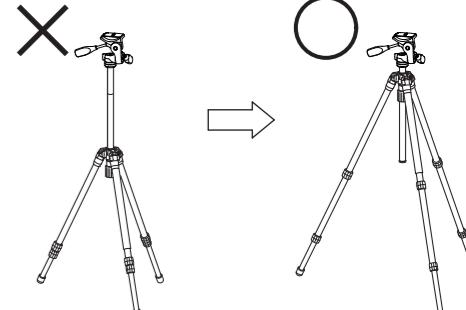
△注意



雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まつたら、手を離す前にしっかりとナット、ストッパーをロックしてください。



雲台はロックする前に手を離すと急に落下し、手を挟む恐れがありますので、締め付けナットは側面をつかんで操作してください。



ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。